

Business Report



ONO'S VIEW

第68期 第2四半期のご報告

2015年4月1日～2015年9月30日

小野薬品工業株式会社
証券コード 4528

Dedicated to Man's Fight against Disease and Pain

病気と苦痛に対する人間の闘いのために

当社は、この企業理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、積極的な努力を続けています。

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第68期第2四半期累計期間(2015年4月1日から2015年9月30日まで)につきましては、長期取載品の売上が後発品使用促進策の影響などから減少となったものの、主要新製品はおおむね堅調に伸長しました。また、抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」の欧米での売上拡大に伴いライセンス収入が増加したことから当初の計画を上回り増収となりました。また、退職給付制度改定に伴う人件費の減少や営業活動費用が前年同期比で減少したことなどにより、販売費及び一般管理費が減少し、増益となりました。

国内の医薬品市場においては、新薬創製成功率の低下や研究開発費の増大に加え、後発品使用促進策に新たな数量シェア目標が設定されるなど、今後も医療費抑制策が推進され、厳しい状況が続くものと思われます。

このような事業環境のなか、当社は、新薬開発型医薬品企業として持続的な発展を実現するために、「開発パイプラインの拡充」、「海外展開の推進」に取り組むとともに、「企業基盤の強化」に努めています。



三つの経営課題に対する取り組み

| | |
|-------------|--|
| 開発パイプラインの拡充 | 持続的成長のためには、開発パイプラインを拡充し、継続的に新薬を市場に送り出すことが不可欠です。創薬においては、オープン・イノベーションを推進し、独創的かつ画期的な医薬品創製を加速しつつ、事業戦略性の高い、あるいは医療ニーズの大きい疾患に対する有望な新薬候補化合物の導入に引き続き注力していくことで、今後も継続的な新薬上市に努めます。また、臨床試験においては、新薬開発のスピードアップにも努めます。 |
| 海外展開の推進 | 自社創製の新薬を世界中の患者さんにお届けできるよう、海外での臨床開発を推進するとともに、海外提携企業への導出を通じ、自社創製化合物の上市を目指してグローバルな事業展開を進めます。抗がん剤などスペシャリティー製品については、自社販売を進めていくためにアジアから基盤づくりに取り組んでおり、引き続き海外での事業拠点を整備していきます。 |
| 企業基盤の強化 | グローバルレベルでの競争力向上のため、人財の育成と活性化、事業のスピードアップに努めます。また、多様性の向上やさまざまな環境変化への対応を図ります。さらに、CSR活動については、「コーポレートガバナンス」「革新的な医薬品」「人財・人権」「環境」「公正な事業環境」「社会」を重点領域として位置づけ、活動を推進することで、一層の充実に取り組みます。 |

わたしたちは、病気で苦しんでいる世界中の患者さんに、医療現場のニーズに沿った新薬を一日も早くお届けするために、一丸となって挑戦を続けていきます。株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

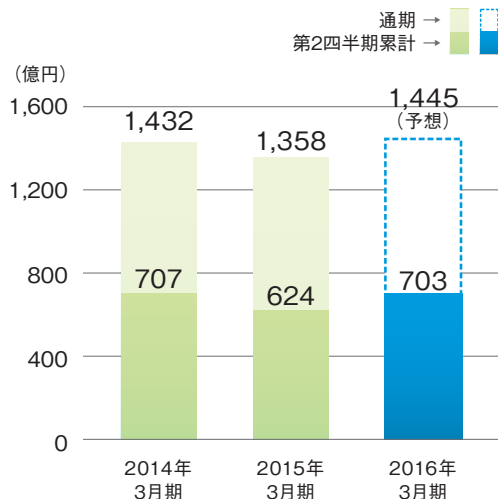


1968年(昭和43年)に中央研究所(現在の水無瀬研究所)の建設を記念して建立された石碑。小野薬品の企業理念がここに刻まれています。

代表取締役社長 相良 暁

売上収益

703億円 前年同期比 **12.7%増**

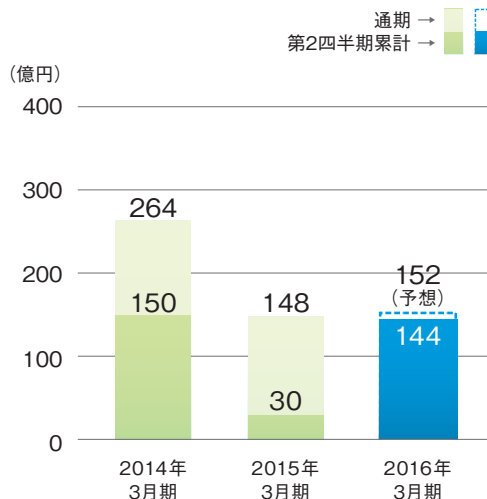


主要新製品が堅調に伸長するとともに、ライセンス収入が増加し増収

長期収載品の売上が後発品使用促進策の影響を受けて減少しましたが、抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」や関節リウマチ治療剤「オレンシア皮下注」などの主要新製品がおおむね堅調に伸長し、また、欧米におけるオプジーボの売上拡大に伴うライセンス収入が増加した結果、当第2四半期累計期間の売上収益は前年同期比79億円(12.7%)増の703億円となりました。

営業利益

144億円 前年同期比 **376.0%増**

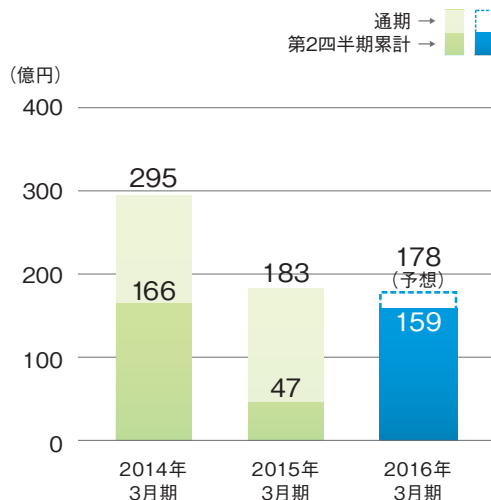


退職給付制度改定に伴う人件費減少などにより増益

売上収益の増加に伴い売上原価が増加しましたが、退職給付制度改定に伴い人件費が減少し、研究開発費、販売費及び一般管理費が減少した結果、当第2四半期累計期間の営業利益は前年同期比114億円(376.0%)増の144億円となりました。

税引前四半期利益

159億円 前年同期比 **238.6%増**

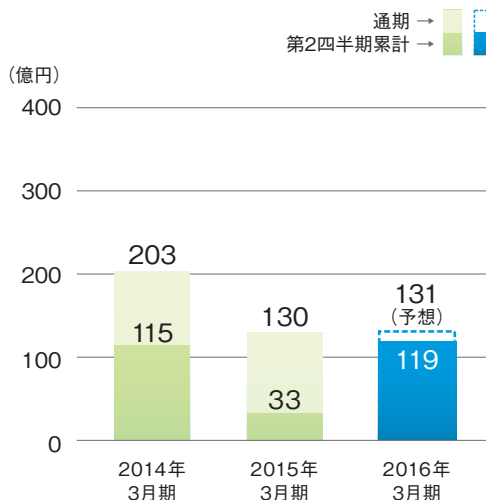


営業利益が増加し、金融収支が前年同期並みとなったことから、増益

営業利益が前年同期比114億円増加し、金融収支が前年同期比1億円減少の16億円となったことから、当第2四半期累計期間の税引前四半期利益は、前年同期比112億円(238.6%)増の159億円となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益

119億円 前年同期比 **261.9%増**



税負担は増加するも、増益

税引前四半期利益が増加したことに伴い、税負担が26億円増加しましたが、当第2四半期累計期間の親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比86億円(261.9%)増の119億円となりました。

連結業績ハイライト

財政状態

(単位:百万円)

| | 前期末 2015年3月31日現在 | 当第2四半期会計期間末 2015年9月30日現在 |
|----------|---------------------|-----------------------------|
| 流動資産 | 197,865 | 202,920 |
| 非流動資産 | 326,723 | 313,717 |
| 資産合計 | 524,588 | 516,637 |
| 負債合計 | 49,375 | 46,664 |
| 資本合計 | 475,213 | 469,973 |
| 負債及び資本合計 | 524,588 | 516,637 |

損益の状況

(単位:百万円)

| | 前第2四半期累計期間 自2014年4月1日 至2014年9月30日 | 当第2四半期累計期間 自2015年4月1日 至2015年9月30日 |
|-------------------|---|---|
| 売上収益 | 62,381 | 70,303 |
| 売上総利益 | 45,687 | 51,749 |
| 販売費及び一般管理費 | △ 21,923 | △ 18,212 |
| 研究開発費 | △ 19,653 | △ 19,097 |
| 営業利益 | 3,026 | 14,404 |
| 税引前四半期利益 | 4,697 | 15,904 |
| 四半期利益 | 3,365 | 11,940 |
| 親会社の所有者に帰属する四半期利益 | 3,281 | 11,873 |

連結持分変動計算書(要旨)

(単位:百万円)

| | 資本金 | 資本剰余金 | 自己株式 | その他の資本の構成要素 | 利益剰余金 | 親会社の所有者に帰属する持分 | 非支配持分 | 資本合計 |
|----------------|--------|--------|---------|-------------|---------|----------------|-------|---------|
| 2015年4月1日現在残高 | 17,358 | 17,080 | △59,308 | 45,756 | 449,690 | 470,575 | 4,638 | 475,213 |
| 四半期包括利益合計 | - | - | - | △7,647 | 11,873 | 4,227 | 83 | 4,310 |
| 所有者との取引額等合計 | - | 8 | △15 | 1,207 | △10,747 | △9,548 | △3 | △9,551 |
| 2015年9月30日現在残高 | 17,358 | 17,088 | △59,323 | 39,316 | 450,816 | 465,254 | 4,718 | 469,973 |

▶より詳しい業績の情報は、当社のIRサイトをご覧ください。 http://www.ono.co.jp/jpnw/ir/ir_library.html

小野薬品 IR

検索

キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

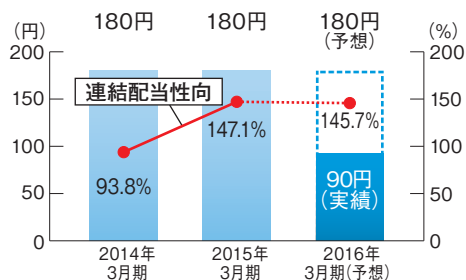
| | 前第2四半期累計期間 自2014年4月1日 至2014年9月30日 | 当第2四半期累計期間 自2015年4月1日 至2015年9月30日 |
|------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,143 | 3,733 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 5,529 | 10,575 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 9,783 | △ 9,719 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △ 11,169 | 4,589 |
| 現金及び現金同等物に係る為替変動による影響額 | 47 | △ 37 |
| 現金及び現金同等物の四半期残高 | 93,775 | 108,775 |

主要経営指標

| | 前期末 2015年3月31日現在 | 当第2四半期会計期間末 2015年9月30日現在 |
|---------------------|---|---|
| 親会社所有者帰属持分比率 (%) | 89.7 | 90.1 |
| 1株当たり親会社所有者帰属持分 (円) | 4,439.07 | 4,388.91 |
| | 前第2四半期累計期間 自2014年4月1日 至2014年9月30日 | 当第2四半期累計期間 自2015年4月1日 至2015年9月30日 |
| 基本的1株当たり四半期利益 (円) | 30.95 | 112.01 |

中間配当金について

〈年間配当実績と当期予想〉



株主の皆さまへの当期の中間配当金につきましては、1株につき90円とさせていただきます。なお、当期の期末配当金につきましても、1株につき90円とし、年間にお支払いする配当金は、1株につき180円を予定しています。

主な製品の売上高の状況と見込み

| 製品名 | 当第2四半期 売上高(実績) (億円) | 対前年同期 増減率 | 2014年度 売上高(実績) (億円) | 2015年度 売上高(見込み) (億円) | 対前期 増減率 |
|-------------|---------------------------|--------------|---------------------------|----------------------------|------------|
| グラクティブ錠 | 160 | +0.6% | 308 | 320 | +4.0% |
| オパルモン錠 | 119 | △6.3% | 248 | 225 | △9.4% |
| リカルボン錠 | 57 | +17.1% | 103 | 110 | +7.0% |
| イメンド/プロイメンド | 47 | +12.9% | 86 | 95 | +10.5% |
| オノンカプセル | 41 | △9.6% | 102 | 90 | △12.1% |
| リバスタッチパッチ | 39 | +20.5% | 68 | 85 | +25.4% |
| フォシーガ錠 | 16 | +29.6% | 15 | 45 | +192.0% |
| オレンシア皮下注 | 37 | +148.2% | 41 | 80 | +93.3% |
| オノンドライシロップ | 25 | +0.1% | 58 | 55 | △5.0% |
| フオイバン錠 | 28 | △12.7% | 61 | 50 | △17.6% |
| オノアクト点滴静注用 | 28 | +27.8% | 47 | 50 | +7.3% |
| ステーブラ錠 | 26 | +4.6% | 53 | 45 | △14.5% |
| キネダック錠 | 22 | △17.5% | 48 | 45 | △5.9% |
| オブジーボ点滴静注 | 30 | +942.0% | 25 | 55 | +117.4% |
| 注射用エラスポール | 9 | △29.2% | 27 | 20 | △25.3% |

アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチ®パッチ」用法及び用量追加の承認を取得

本年8月に、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチ®パッチ」について、用法及び用量の追加承認を取得しました。同剤には4種類の用量（4.5mg, 9mg, 13.5mg, 18mg）があり、これまでは原則として4.5mgから開始し、4週間ごとに増量して12週間後に18mg（維持量）まで増量する3段階の漸増法のみでした。このたびの用法及び用量の追加承認取得により、患者さんの状態に応じて、1度の増量で維持量に到達できるようになりました。アルツハイマー型認知症は進行性の神経変性疾患であることから、より早くから維持量の投与を開始することが重要です。薬剤の投与による影響を慎重に確認することが必要な一方で、漸増期間をできるだけ短くすることが望まれていました。この新たな治療選択肢を提供することで、患者さんおよびご家族に貢献できるものと考えています。



売上収益

1,445億円 前期比 **6.4%増**

長期収載品については、後発品使用促進策の影響により売上の減少が予想されますが、主要新製品はおおむね堅調に伸長すると見込んでいます。「オブジーボ点滴静注」や「オレンシア皮下注」などの売上やライセンス収入の増加が見込まれ、通期の売上収益は、前期比87億円(6.4%)増の1,445億円を予想しています。

営業利益

152億円 前期比 **2.7%増**

売上収益は前期比87億円増加を見込んでいますが、売上原価の増加に加え、オブジーボに関する臨床試験の増加に伴う研究開発費の増加やオブジーボの効能追加を見据えた販売費及び一般管理費も増加を見込んでおり、通期の営業利益は、前期比4億円(2.7%)増の152億円を予想しています。

税引前当期利益

178億円 前期比 **2.8%減**

営業利益を前期比4億円増加と見込んでいるものの、金融収支等が前期比9億円減少の26億円と見込まれることから、通期の税引前当期利益は、前期比5億円(2.8%)減の178億円を予想しています。

親会社の所有者に帰属する当期利益

131億円 前期比 **1.0%増**

税引前当期利益は減少しますが、一方で法人税等の税率の低下などにより税金費用の減少が見込まれます。その結果、通期の親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比1億円(1.0%)増の131億円を予想しています。

研究開発活動・開発品の主な進捗状況

研究開発活動

わたしたちは、「真に患者さんのためになる医薬品を開発して社会に貢献する」を研究開発理念として、これまで克服されていない病気や、いまだ患者さんの治療満足度が低く、医療ニーズの高い疾患領域に挑戦し、独創的かつ画期的な医薬品の創製に向けて努力を積み重ねています。なかでも、がん治療およびその支持療法は医療現場のニーズが高いことから、当該領域を戦略分野と位置づけ、がん患者さんの包括的薬物治療への貢献を目指します。

開発品の主な進捗状況

(2015年10月31日現在)

| 国内 | 製品名(開発コード)／一般名 | 予定効能 | 開発ステージ | | | |
|----|--------------------------------|----------------------|--------|-----|------|----|
| | | | PI | PII | PIII | 申請 |
| | オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) | 非小細胞肺癌 | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | プロイムド点滴静注用 (ONO-7847) | 抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐(小児) | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | ONO-7057／カルフィルゾミブ | 多発性骨髄腫 | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) | 腎細胞がん | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) | 頭頸部がん | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) | 胃がん | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) | 食道がん | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) | 小細胞肺癌 | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オレンシア点滴静注用 (ONO-4164) | 若年性特発性関節炎 | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オレンシア点滴静注用 (ONO-4164) | ループス腎炎 | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オレンシア皮下注 (ONO-4164) | 未治療の関節リウマチ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | ONO-7057／カルフィルゾミブ | 多発性骨髄腫(用法変更) | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | ONO-5163 | 二次性副甲状腺機能亢進症 | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | ONO-1162／Ivabradine | 慢性心不全 | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オアアト点滴静注用50mg/150mg (ONO-1101) | 心機能低下例における頻脈性不整脈(小児) | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オアアト点滴静注用50mg/150mg (ONO-1101) | 心室性不整脈 | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) | 尿路上皮がん | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) | 卵巣がん | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) | 膠芽腫 | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) | ホジキンリンパ腫 | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) | ウイルス陽性・陰性固形がん | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | ONO-7643 | がん悪液質 | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | ONO-6950 | 気管支喘息 | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | ONO-5371／Metyrosine | 褐色細胞腫 | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) | 胆道がん | ■ | ■ | ■ | ■ |

| 国内 | 製品名(開発コード)／一般名 | 予定効能(地域) | 開発ステージ | | | |
|----|---------------------|---|--------|-----|------|----|
| | | | PI | PII | PIII | 申請 |
| | オブジーボ点滴静注(ONO-4538) | 肝細胞がん | ■ | | | |
| | オブジーボ点滴静注(ONO-4538) | 固形がん(モガムリズマブとの併用) | ■ | | | |
| | オブジーボ点滴静注(ONO-4538) | 固形がん(Urelumabとの併用) | ■ | | | |
| | オブジーボ点滴静注(ONO-4538) | 固形がん(LAG3免疫チェックポイント阻害剤との併用) | ■ | | | |
| | ONO-7268MX1 | 肝細胞がん | ■ | | | |
| | ONO-7268MX2 | 肝細胞がん | ■ | | | |
| | ONO-2160／CD | パーキンソン病 | ■ | | | |
| | ONO-2370／Opicapone | パーキンソン病 | ■ | | | |
| | ONO-4059 | B細胞リンパ腫 | ■ | | | |
| 国外 | ONO-4538／Nivolumab | 悪性黒色腫(台湾) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 非小細胞肺癌(欧州・韓国・台湾) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 悪性黒色腫(ヤーボイとの併用)(欧州) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 腎細胞がん(欧米) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 頭頸部がん(欧米・韓国・台湾) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 膠芽腫(欧米) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 小細胞肺癌(欧米・韓国・台湾) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 胃がん(韓国・台湾) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 食道がん(韓国・台湾) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(欧米) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 濾胞性リンパ腫(欧米) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | ホジキンリンパ腫(欧米) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 尿路上皮がん(欧米) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 大腸がん(欧米) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 固形がん(トリプルネガティブ乳がん、胃がん、膵臓がん、小細胞肺癌、尿路上皮がん、卵巣がん)(欧米) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | ウイルス陽性・陰性固形がん(欧米・韓国・台湾) | ■ | ■ | | |
| | ONO-6950 | 気管支喘息(米国) | ■ | ■ | | |
| | ONO-2952 | 過敏性腸症候群(米国) | ■ | ■ | | |
| | ONO-9054 | 緑内障・高眼圧症(米国) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 肝細胞がん(欧米) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 血液がん(T細胞リンパ腫、多発性骨髄腫、慢性白血病、他)(欧米) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | 慢性骨髄性白血病(欧米) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4538／Nivolumab | C型肝炎(欧米) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4059 | B細胞リンパ腫(欧米) | ■ | ■ | | |
| | ONO-8055 | 低活動加齢性(欧州) | ■ | ■ | | |
| | ONO-1266 | 門脈圧亢進症(米国) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4232 | 急性心不全(米国) | ■ | ■ | | |
| | ONO-4474 | 変形性関節症(欧州) | ■ | ■ | | |

※なお、抗がん剤において、同じ予定効能(がん腫)の場合は、最も進んでいるフェーズ(開発ステージ)を記載しています。

がん領域への取り組みについて

■ オブジーボの適応がん腫の拡大に向けて

昨年9月に世界に先駆けて国内で発売しました抗悪性腫瘍剤のオブジーボは、その後12月に米国、本年3月に韓国、さらに6月には欧州で、悪性黒色腫を対象に承認を取得しました。また、世界的にも患者さんが多く、死亡率が高いといわれている肺がんにおいても、肺扁平上皮がんについて本年3月に米国、7月には欧州で承認取得。さらに10月には米国で非扁平上皮非小細胞肺がんにつ

いて承認を取得しました。国内においても、本年4月に肺扁平上皮がん承認申請を行い、7月には非扁平上皮非小細胞肺がんを含めた非小細胞肺がんについて承認申請を行いました。現在、腎細胞がん、頭頸部がん、胃がん、食道がんなどへの適応追加を目指し臨床試験を推進しています。



■ 営業本部における新組織体制について ————— 執行役員 営業本部長 松本 憲佳

当社はこれまで、疾患領域別の営業体制をとったことはありませんでしたが、当社として初の抗がん剤オブジーボを昨年上市したことを機に、オンコロジー領域を専門に担当する新組織を立ち上げました。この新組織は、がん領域という特殊性と、それに対する高い専門性が医薬情報担当者(MR)に



求められること、さらには従来当社が扱ってきた薬剤に比べ、より安全性に関する情報提供や情報収集が重要になることなどを考慮したものです。そして本年10月にはオンコロジー営業部を新設し、その組織下に全国10営業所を配置しました。これはオブジーボの非小細胞肺がんなどへの適応拡大を見据えたものです。オンコロジー領域の専門MRは当初の約30名から、即戦力となるキャリア採用も積極的に行いながら現在は約180名にまで増員し、新組織体制を整えました。今後もオンコロジー領域においては、がん腫の拡大を見据えた適切な人員配置を行い、正確かつ迅速な情報提供と情報収集に取り組んでいきます。

CSR活動の推進

■ リレー・フォー・ライフ・ジャパンへの参加

当社は、企業理念と行動規範に基づいて6つの重点領域を定め、さまざまなCSR活動に取り組んでいます。2014年度からCSR活動の一環として参加している「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」は、“がん患者は24時間、がんと闘っている”をコンセプトに、がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指すチャリティー活動で、各地で行われています。当社は、今年度はこれまでに、茨城・静岡・栃木・東京・京都でのイベントに参加しました。2015年度、全国47カ所で開催されている「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」では、患者会のほか製薬会社、生命保険会社、地域ボランティアなどが、それぞれの特色を生かしたがん啓発活動を行っています。当社のブースでは、悪性黒色腫（メラノーマ）の啓発活動を行っており、多くの方々に立ち寄っていただいています。



イベントの様子

■ 多様性向上への取り組み

当社は経営課題のひとつに「企業基盤の強化」を掲げ、多様性（ダイバーシティ）の向上にも積極的に取り組んでいます。今回、当社の取り組みが評価され、厚生労働省が主催する平成27年度「均等・両立推進企業表彰」において、下記の二部門で表彰されました。なお「均等・両立推進企業表彰」は、「女性労働者の能力発揮を促進するための積極的な取り組み」または「仕事と育児・介護との両立支援のための取り組み」について、他の模範ともいべき取り組みを推進している企業を表彰するものです。

平成27年度「均等・両立推進企業表彰」

- 均等推進企業部門「大阪労働局長優良賞」
- ファミリー・フレンドリー企業部門「大阪労働局長奨励賞」

当社は社員全員がより一層能力を発揮し、チャレンジできる、やりがいのある企業を目指し、引き続き取り組みを進めていきます。



会社の概要 (2015年9月30日現在)

■ 会社概要

| | |
|------|------------------------------------|
| 社名 | 小野薬品工業株式会社 |
| 英文社名 | ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD. |
| 創業 | 享保2年(1717年) |
| 設立 | 昭和22年(1947年) |
| 資本金 | 17,358,275,607円 |
| 事業内容 | 医療用医薬品を主体とする各種医薬品の研究、開発、製造、仕入および販売 |
| 従業員数 | 2,987名(連結) 2,728名(単体) |

■ 主要な事業所

| | |
|-------|---|
| 本社 | 〒541-8564 大阪府中央区久太郎町一丁目8番2号 電話 06-6263-5670 〔 登記簿上の本店所在地 大阪府中央区道修町二丁目1番5号 〕 |
| 支店 | 全国9支店 (その他主要都市に営業所等を設けています) |
| 工場 | 城東工場(大阪府)、フジヤマ工場(静岡県) |
| 研究所 | 水無瀬研究所(大阪府)、福井研究所、 筑波研究所(茨城県) |
| 海外子会社 | オノ・ファーマ・ユー・エス・イー インク(米国ニュージャージー州) オノ・ファーマ・ユー・ケー・リミテッド(英国ロンドン) 韓国小野薬品工業株式会社(韓国ソウル) 台湾小野薬品工業股份有限公司(台湾台北) |

■ 役員

| | |
|----------------|--------|
| 代表取締役 取締役社長 | 相良 暁 |
| 取締役 副社長執行役員 | 栗田 浩 |
| 取締役 専務執行役員 | 佐野 敬 |
| 取締役 常務執行役員 | 川瀬 和一十 |
| 取締役 常務執行役員 | 小野 功雄 |
| 社外取締役 | 加登 豊 |
| 社外取締役 | 栗原 潤 |
| 常勤監査役 | 西村 勝義 |
| 常勤監査役 | 藤吉 信治 |
| 社外監査役 | 間石 成人 |
| 社外監査役 | 作花 弘美 |

株式の状況 (2015年9月30日現在)

■ 株式数

1. 発行可能株式総数 300,000,000株
2. 発行済株式の総数 117,847,500株
(自己株式11,828,604株を含む)

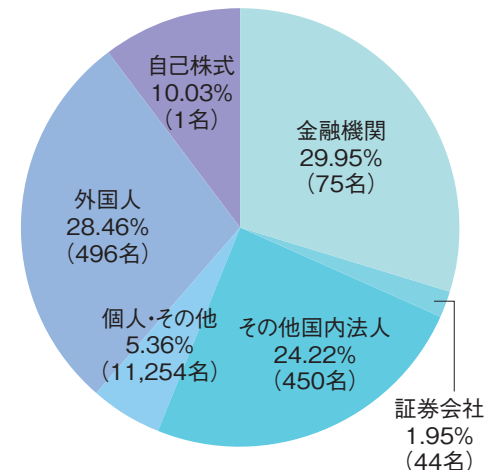
■ 株主数 12,320名

■ 大株主

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|---------------------------------|-------------|-------------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 7,518 | 7.09 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 6,371 | 6.00 |
| ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント | 4,595 | 4.33 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 3,718 | 3.50 |
| 公益財団法人 小野奨学会 | 3,285 | 3.09 |
| 株式会社 鶴鳴荘 | 3,224 | 3.04 |
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー | 2,071 | 1.95 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1,728 | 1.63 |
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 | 1,721 | 1.62 |
| ジェーピー モルガン チェース バンク 385147 | 1,659 | 1.56 |

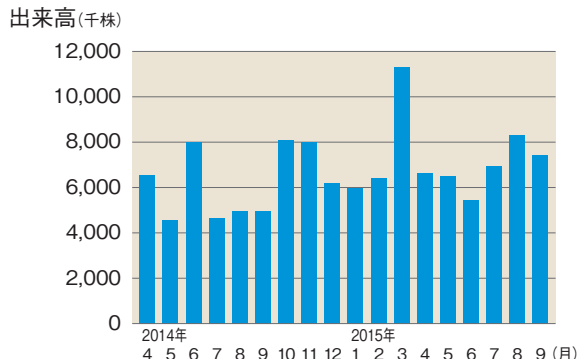
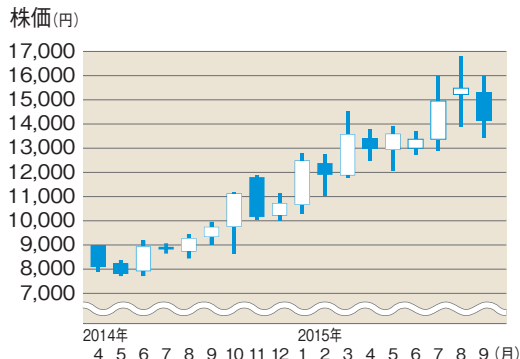
- (注) 1. 当社は自己株式11,828千株を保有していますが、上記大株主には記載していません。
2. 持株比率は、自己株式(11,828千株)を控除して算出しています。

■ 所有者別の株式分布状況



(注) 比率は、小数点第3位以下を切り捨てているため、各項目の比率を
加算しても100%になりません。

■ 株価および株式売買高の推移



株主メモ

| | |
|-----------------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 6月中 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当：3月31日 中間配当：9月30日 |
| 公告の方法 | 電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告を掲載するホームページのアドレス http://www.ono.co.jp/ |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所（証券コード4528） |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人事務取扱場所 | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 各種お問合せ先 | 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） |
| 同取次窓口 | 三井住友信託銀行株式会社 全国本支店 |

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページアドレス

<http://www.ono.co.jp/>